

市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

人口	12,281	人(H22.3.31現在)
面積	7.61	km ²
標準財政規模	2,896,868	千円
歳入総額	4,981,535	千円
歳出総額	4,672,720	千円
実質収支	119,627	千円

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 14/62
全国市町村平均 0.55
岡山県市町村平均 0.46

類似団体内順位 46/62
全国市町村平均 91.8
岡山県市町村平均 90.2

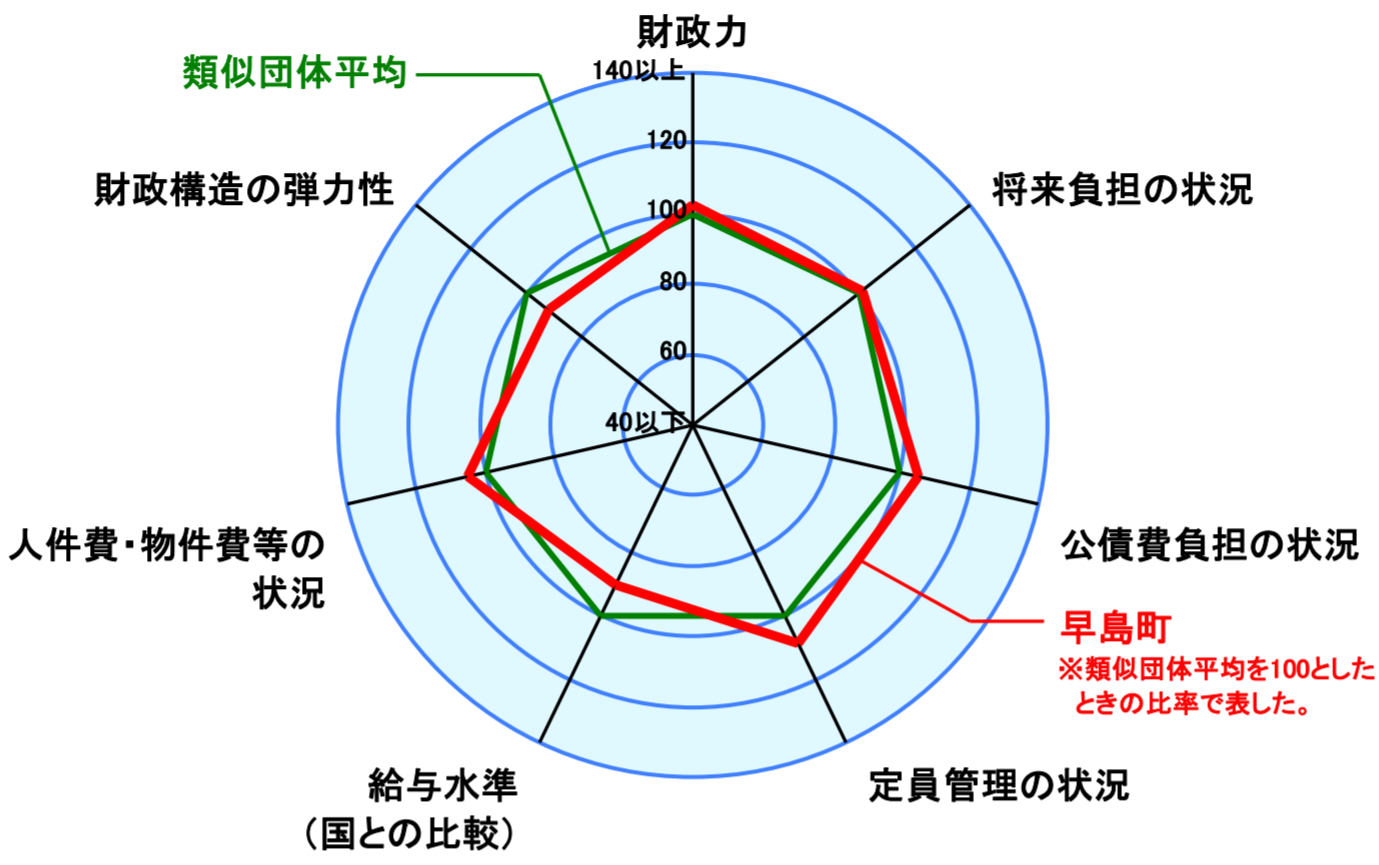
類似団体内順位 20/62
全国市町村平均 115,856
岡山県市町村平均 116,620

類似団体内順位 54/62
全国市平均 98.8
全国町村平均 95.1

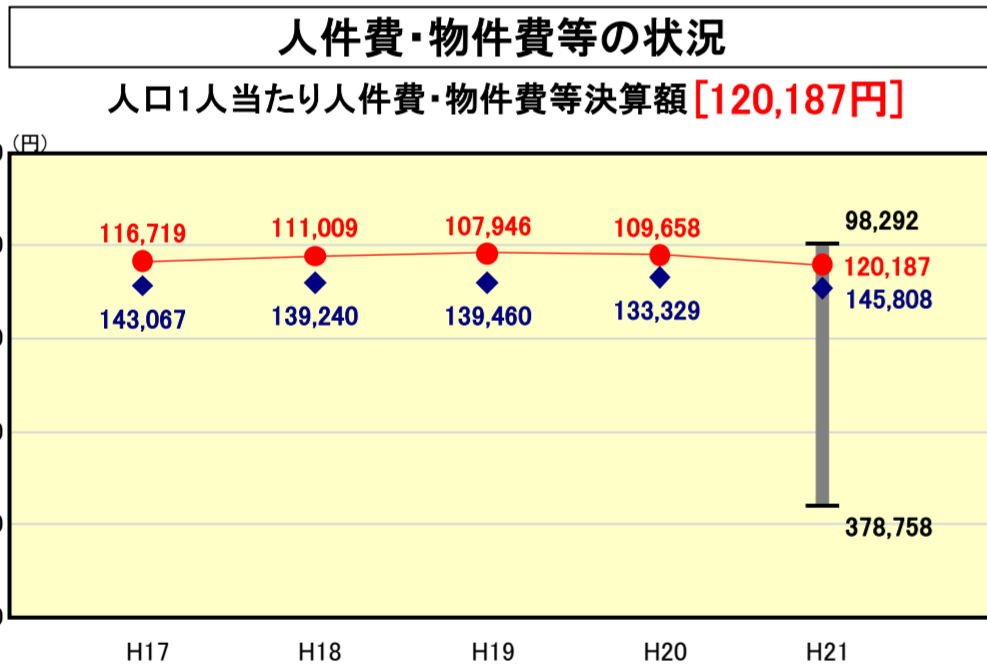
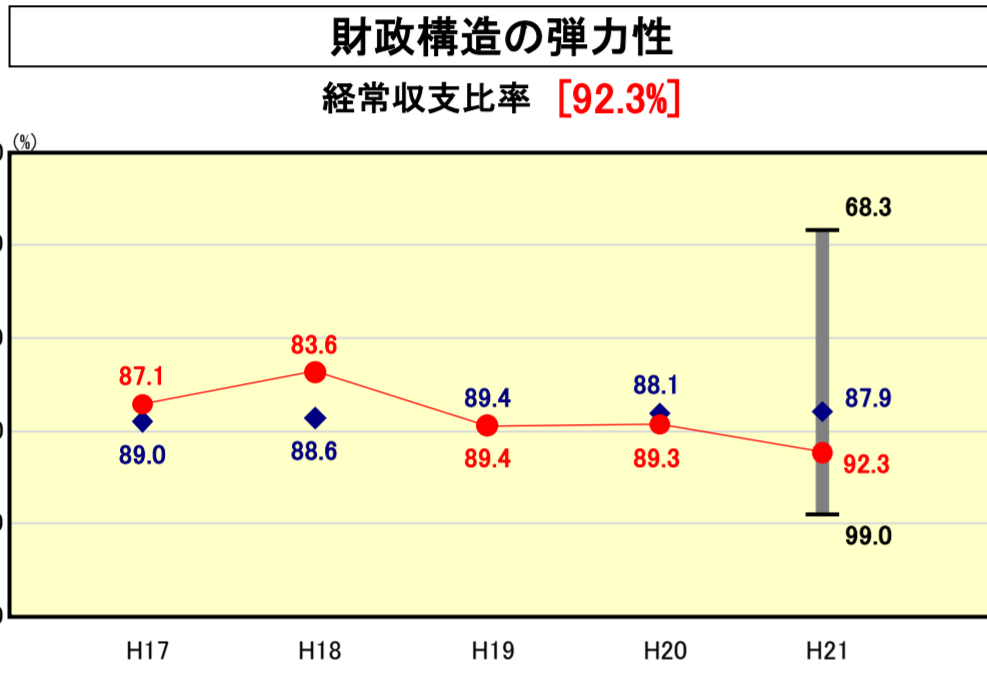
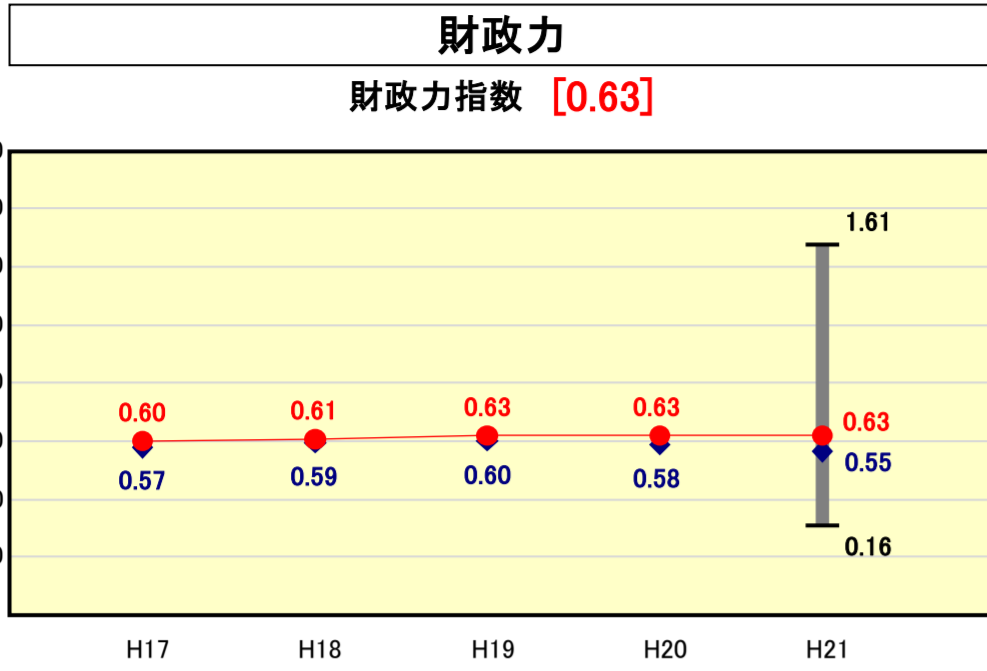
類似団体内順位 21/62
全国市町村平均 92.8
岡山県市町村平均 117.6

類似団体内順位 20/62
全国市町村平均 11.2
岡山県市町村平均 15.8

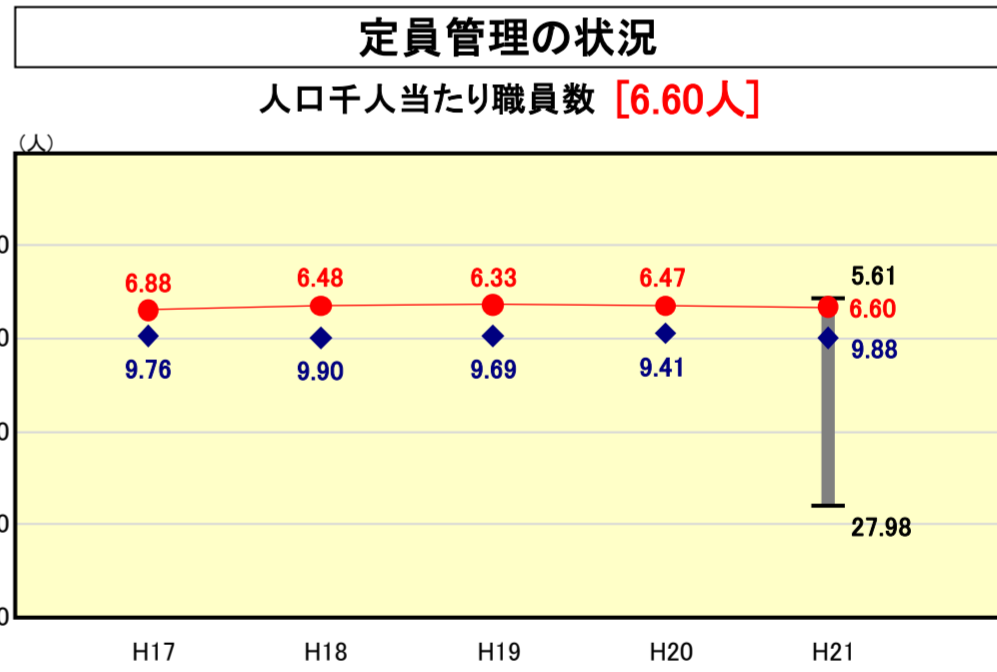
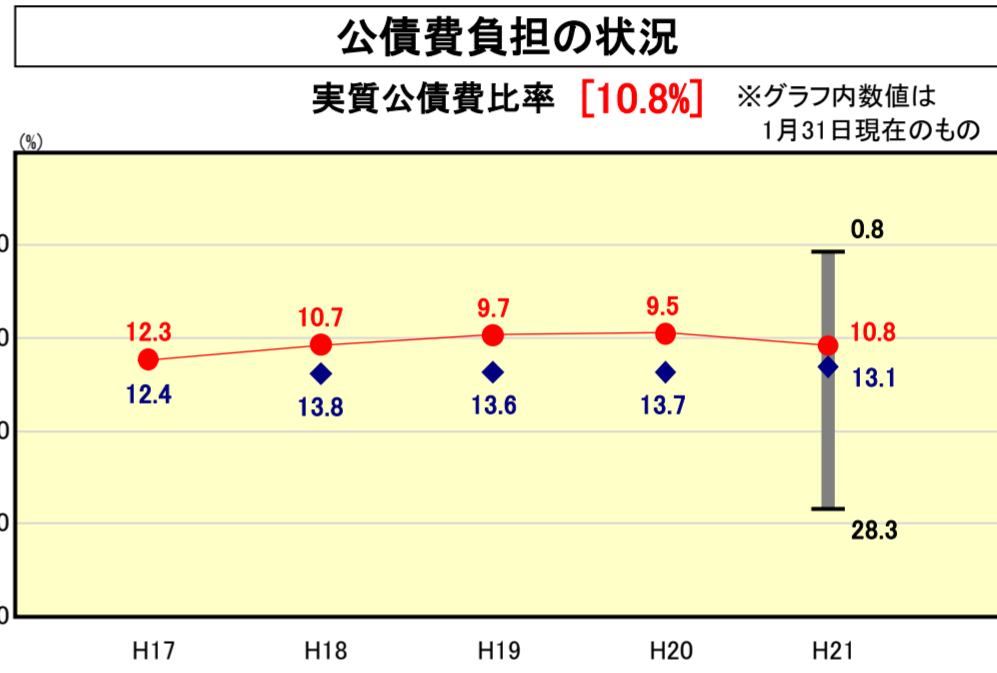
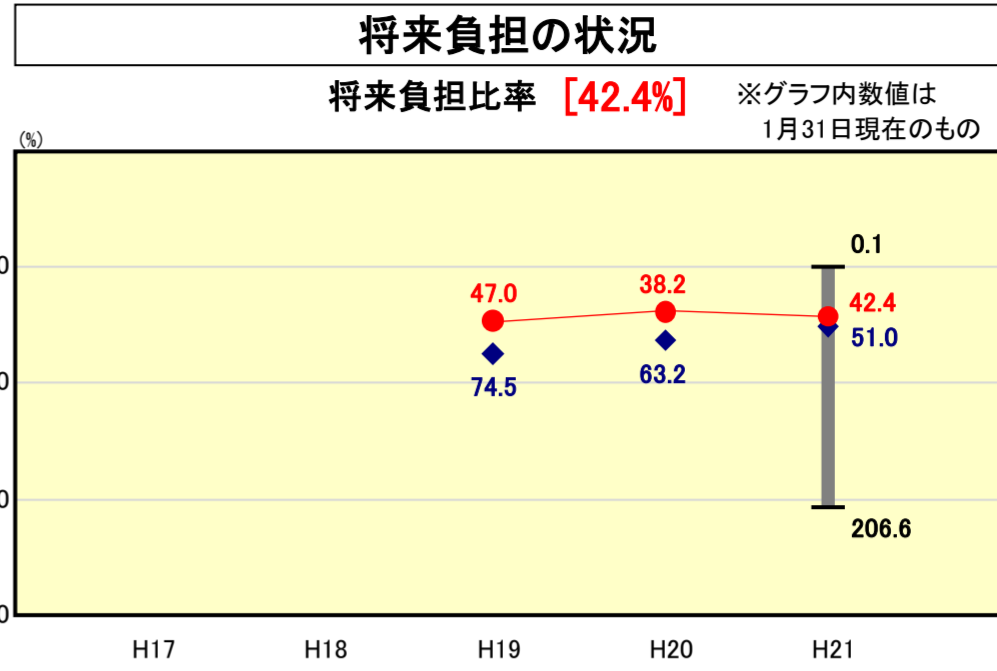
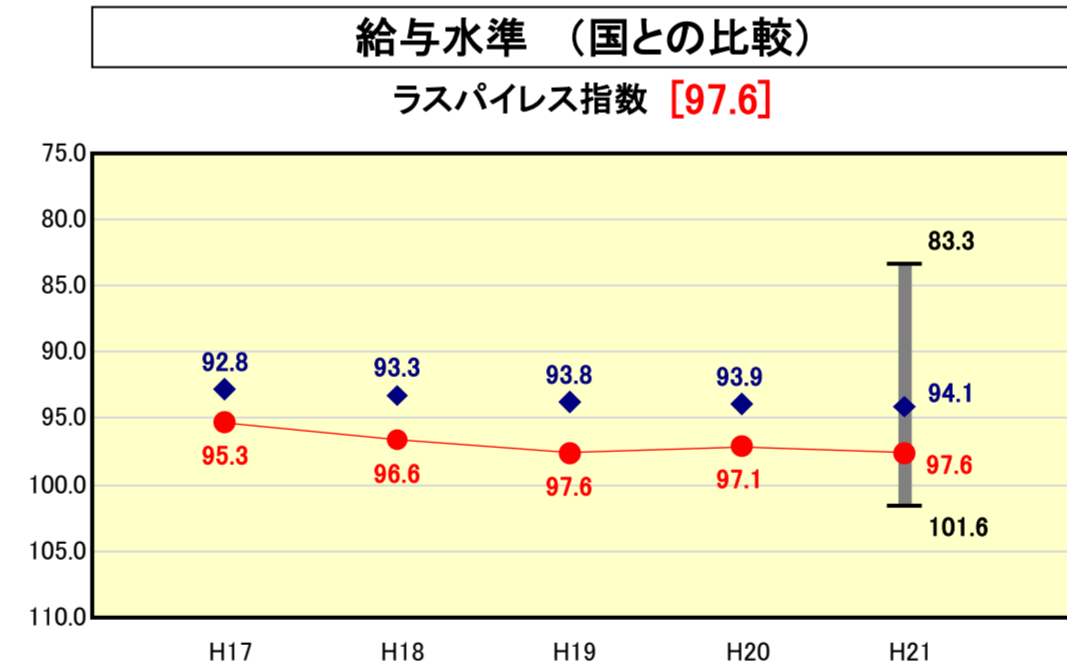
類似団体内順位 4/62
全国市町村平均 7.33
岡山県市町村平均 7.90



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

財政力指数
ここ3年間は前年度と同率を保っているが、類似団体内平均値と比較すると景気低迷にも関わらず指数値を保っている。

経常収支比率
近年の景気低迷による町税等の一般財源の落ち込み、社会保障制度を中心とした、経費の増額により率の上昇に繋がった。今後も運営状況を考え、経常経費削減に努める。

ラスパイレス指数
定員適正化計画に基づき今後も職員や給与の適正化に努める。

実質公債費比率
全国市町村平均よりも下回っているが、町民総合会館建設に伴う地方債の償還が平成25年度まで続くがその償還に対する交付税措置は平成20年度で終了した。よって、平成25年度までは、比率も上昇し、財政面にも影響が生じる見込があることから、計画的に積み立てた基金の活用及び今後の新規地方債の取扱いに十分注意し発行しなければならない。

将来負担比率
充当可能基金の減額により、率が上昇している。しかし、全国平均よりも下回っており健全な運営である。今後とも、財政計画に基づき、将来負担が過大にならないように努める。

人口千人あたり職員数
過去から全国市町村平均を下回り、平成21年度も全国類似団体の中で4番目に位置する職員数である。今後、事務改善を図り行政サービスの向上に努める。

人口1人あたり人件費・物件費等決算額
類似団体内平均と比較して、人件費・物件費等の決算額は低くなっている。これは、職員数が少ないことと、ごみ焼却業務及び消防業務を倉敷市に委託し補助費に計上されていることが大きな要因である。また、将来を見据え平成16年度から取り組んだ財政改革もひとつの要因となっている。